事業を通じた地域経済への貢献

三菱自動車が主要マーケットに据えるアセアン地域においては、さらなる飛躍を目指し、この中期経営計画期間の3年間で、将来の成長に資するしっかりとした事業基盤を整備していきます。

■基本的な考え方

三菱自動車は、アセアン地域でモータリゼーションが興る以前より事業を展開し、「地域の発展」が「当社の発展」という思いで地域に寄り添いながら各国と共に成長してきました。

「事業を通じた地域経済への貢献」をマテリアリティの一つに掲げ、「アセアン地域における事業の発展を通じ、雇用・人材育成・投資・技術移転・輸出による地域経済への貢献を果たす」ことを目標として事業活動に取り組んでいます※1。

アセアンのお客様に求められる製品の提供により、今後の事業拡大とともに、アセアン地域固有の社会ニーズに応える形で、環境と社会貢献の分野でも当社独自の技術・サービスを生かして取り組んでいきます※2。

※1：「マテリアリティの特定」の詳細は、P19ご参照ください。
※2：具体的な事例は、「サステナビリティレポート2020」P57-58、P76-78をご参照ください。

■マネジメント体制

アセアン地域でのマテリアリティへの取り組みは、活動の計画策定および遂行は現地子会社が担い、管理監督機能を果たす三菱自動車の営業部門が責任部門として、取り組みを推進しています。生産拠点を持つタイ、インドネシア、フィリピンの3カ国については、半年に一度、現地子会社に取り組みの進捗率や実績を確認し、サステナビリティ委員会を通じて経営層に報告を行っています。

地域経済への貢献

雇用	持続的な事業の発展を通じて、地域の雇用の創出に努めます。
人材育成	就業経験を通じ、専門的な知見や技能を培うとともに地域経済の発展を担う人材への成長を支援します。
投資	事業拡大に応じた工場の設備投資により、地域経済に貢献します。
技術移転	三菱自動車の強みである電動車や EV インフラにかかわる技術・知識の提供を通じて、アセアン地域の電動車市場の成長に貢献していきます。 また、現地生産の拡大とともに、地域社会の製造業のバリューチェーンに変革をもたらすような工場の競争力の強化に取り組んでいます。
輸出	アセアン域内での生産の相互補完体制を進めるとともに、アセアン域内外への輸出を拡大することで、地域経済に貢献します。